

2008年8月11日

グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】  
受益者の皆様へ

三菱UFJ投信株式会社

## 「グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】」の 2008年8月(第120期)の分配金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社商品『グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは8月11日に第120期決算を迎え、当期の分配金を1万口あたり35円(税引前)と致しましたことを、ご報告申し上げます。なお、決算後の基準価額は6,757円です。

### ファンドの分配方針と前回決算(2008年7月)までの分配について

#### 当ファンドの分配方針

- ・分配対象額は、経費等控除後の利子等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・収益分配金額は、委託会社が経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。
- ・収益の分配にあてなかった利益については、信託約款に定める運用の基本方針に基づいて運用を行います。

上記の分配方針に従い、随時分配水準の見直しを実施し、直近では2004年4月以来1万口当たり40円(税引前)の分配金を継続してまいりました。

### 今期決算(2008年8月)における分配金の引き下げについて

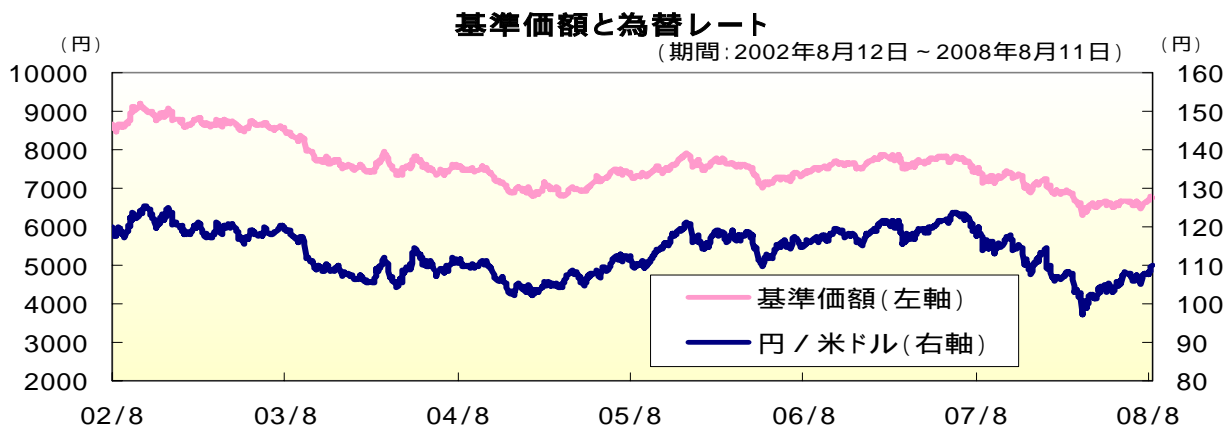
当ファンドは、エマージング諸国が発行する高利回りの米ドル建て公社債を主要投資対象とし、また機動的に米国国債にシフトすることによって安定的な運用を行い、上記の分配方針に従って安定的に分配金をお支払いしてまいりました。(図表1)

2006年以降の円高米ドル安により基準価額は下落し、7月末現在で6,670円となっております。またサブプライム問題に端を発する世界的な金融収縮の懸念が広がる中で米国の金利が大幅に低下するとともに、米ドル建てエマージング債券市場の利回りが低下しております。安定的な分配を目指すため、数ヶ月にわたり状況を注視しつつ1万口当たり40円(税引前)の分配を継続してまいりましたが、基準価額の水準や利回りに大きな変化は見られておりません。(図表2)

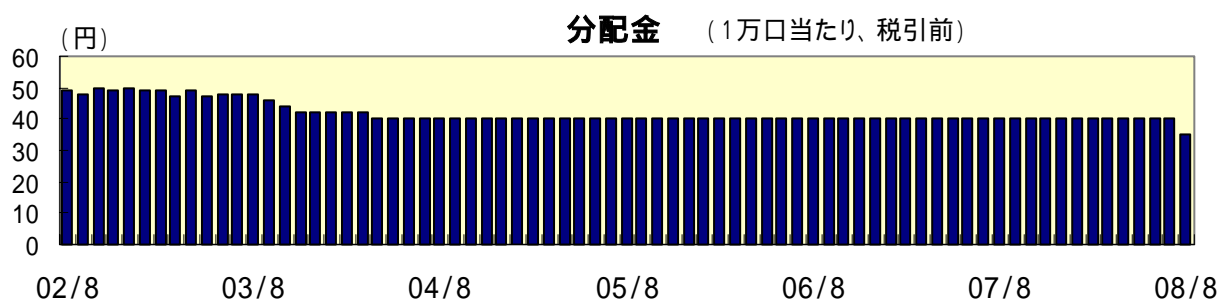
こうした状況下、今後のファンドの安定的な運用のために今般分配金水準の見直しを行い、今期決算の分配金を1万口当たり35円(税引前)に引き下げることにいたしました。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

図表 1



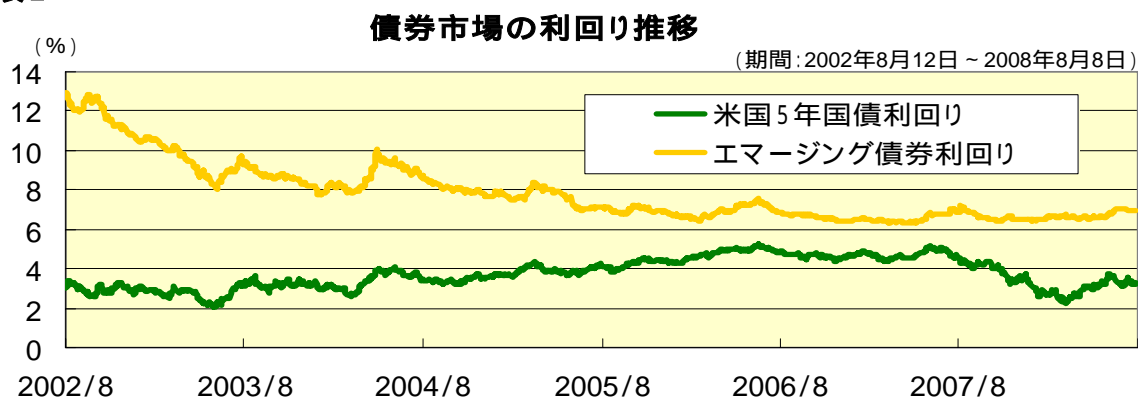
注) 基準価額は、信託報酬(純資産総額に対し、年 1.596%(税抜 1.52%))控除後の値です。



注) 運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。なお、分配金は税引前の値です。

・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。  
また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

図表 2



エマージング債券の利回り: JPMorgan EMBI+ インデックスの利回り  
JPMorgan EMBI+ インデックスはエマージング債市場の動向を示す指数です。

・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。  
また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

今後の分配金の見通しについて

今後の分配につきましては、引き続き、分配水準の安定性に配慮しながら、分配方針に従い、基準価額水準や市況動向等を勘案して分配金を決定させていただきます。

運用成果の詳細につきましては、運用報告書ならびにマンスリーレポート等をご参照下さい。

今後とも引き続き『グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称：受取物語】』をご愛顧下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】



### 追加型株式投資信託/バランス型

#### ファンドの特色

- ・エマージング諸国が発行する高利回りの米ドル建て公社債を主要投資対象とし、分散投資します。
- ・機動的に米国国債にシフトすることによってパフォーマンスの安定性を高めます。
- ・各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づく銘柄選定を基本とします。
- ・原則として毎月収益を分配します。
- ・為替ヘッジは原則として行いません。
- ・運用指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託します。

#### 商品概要

設定日	: 1998年7月31日
決算日	: 原則として、毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
信託期間	: 2013年7月10日まで
ベンチマーク	: 規定しておりません。
お買付け申込み	: 原則として、いつでもお買付申込み、換金のお申込みができます。ただし、ニューヨーク、ロンドン証券取引所の休業日に該当する日
中途換金	: については、お買付・中途換金のお申込みができません。
申込価額	: 申込受付日の翌営業日の基準価額

**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

- 申込時に直接ご負担いただく費用
  - 申込手数料 : 申込価額 × 3.15% (税抜 3%) を上限として販売会社が定める手数料率
  - 換金時に直接ご負担いただく費用
  - 信託財産留保額 : 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額
  - 保有期間中に間接的にご負担いただく費用
  - 信託報酬 : 純資産総額に対して、年率 1.596% (税抜 1.52%)
  - その他費用(\*) : 売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用等
- (\*)「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
- なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
 (課税関係) 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。なお、個人受益者については、2009年1月1日以降は、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

【お申込不可日について】2008年の該当日は、1月21日、2月18日、3月21日、3月24日、5月26日、7月4日、8月25日、9月1日、11月27日、12月25日、12月26日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。

#### 当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に公社債を投資対象としますので、公社債等の有価証券市場の相場変動、組入有価証券の発行者の信用状況の変化等により、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入有価証券の価格変動リスクや為替変動リスク等があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「基本情報 リスク」をご覧ください。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入しておりません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。/ 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。/ 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。/ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

#### (お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

設定・運用 ... 三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会(社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会  
 <お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034 (毎営業日の9:00 ~ 17:00)  
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>  
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
 (\*メール配信対象外ファンドもあります。)

**グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称：受取物語】**
**当ファンドにかかるリスクについて**

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

<b>市場リスク</b>	<p>(価格変動リスク) 当ファンドは、公社債を主要投資対象とし、公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク) 主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<b>信用リスク</b>	<p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<b>流動性リスク</b>	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<b>カントリーリスク</b>	<p>新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込む可能性が高まることがあります。</p>
<b>留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。</li> <li>・当ファンドは、原則として毎期収益分配を行う方針ですが、毎期一定水準の収益分配金の支払いを保証するものではなく、収益分配金額は運用実績に応じて変動します。</li> <li>なお、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。</li> </ul>

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

